

えいやく さいてん じょうせきしゅう
英訳採点ルーブリック-定石集

1 1. 使う場面

- 英訳の点数を感覚でなく観点別に分解したい場面
- 添削や自己採点の結果を、次回の学習課題へつなげたい場面
- 意味は通るのに点が伸びない理由を可視化したい場面

2 2. 見分け方

観点	配点	主に関係するタグ
意味保持	30	CLS / TNS / COL
骨格と文法	25	CLS / TNS / PRP / ART
語法と自然さ	25	COL / PRP / ART
文体と語気	15	REG
表記	5	綴り / 句読点

3 3. 使う公式

Display

重大エラー = -4

中程度エラー = -2

軽微エラー = -1

採点は満点から機械的に減点してもよいし、観点別の配点へ割り振ってもよい。ただし、重要なのは点数そのものより、どのタグが失点を作ったかを残すことである。

4 4. 解き方の手順

1. 原文と答案を照合し、意味の欠落・過剰・誤読を確認する
2. 主節、時制、接続を確認して骨格点を決定する
3. Collocation、前置詞、冠詞の自然さを確認して語法点を決定する
4. 場面と文体の適合を確認して REG の減点を行う
5. 主要タグを文ごとに記録し、次回の重点を決める

5 5. 判別と注意点

5.1 意味保持は最優先

自然な英語でも、原文の内容を落としていけば高得点にはできない。採点の最初に意味保持を置くのはそのためである。

5.2 COL と REG を分離して確認する

The movie is reviewed good. は COL の問題であり、It was terrible. を事務連絡で使うのは REG の問題である。両方を「英語として変」で済ませない。

5.3 再発率まで記録する

同じ種類の失点が繰り返されるなら、点数よりタグの件数のほうが重要である。

6 6. 落とし穴

- 点数だけを確認する：次回に直すべき論点が残らない
- REG を減点しない：意味が通っても文体の不一致は実戦で大きい
- 重大エラーと軽微エラーを同列に扱う：採点が不安定になる

7 7. 関連リンク

→ [定石集](#) [誤りタグ体系](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>

→ [定石集](#) [自己校正プロセス](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/自己校正プロセス-定石集/>

→ [問題演習](#) [タイムド英訳基礎](#) [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/タイムド英訳基礎-問題演習/>

→ [問題演習](#) [段落タイムド英訳](#) [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/段落タイムド英訳-問題演習/>

→ [問題演習](#) [誤り訂正と二段階ライト](#) [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/誤り訂正と二段階ライト-問題演習/>

→ [問題演習](#) [ポートフォリオ更新ドリル](#) [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/ポートフォリオ更新ドリル-問題演習/>

→ [講義](#) [英語学習の運用設計](#) [lecture](#) [english](#) [overview](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/overview/英語学習の運用設計-講義/>